

人間学群 教育学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(教育学類開設) ◎日本史概論, 日本教育史	下線2科目か ら1科目選択 必修
			外国史	(比較文化学類開設) ◎ <u>欧米研究概論</u> (日本語・日本文化学類開設) ◎ <u>東洋の歴史と文化</u> (教育学類開設) 外国教育史, アジア教育史	
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(教育学類開設) ◎地理学概論	
			地誌	(教育学類開設) ◎地誌概論, 地域と教育	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論 (教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論	
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(教育学類開設) ◎社会学概論, 教育社会学Ⅰ, 教育社会学Ⅱ	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(教育学類開設) ◎哲学概論, 教育哲学, 道德教育論, 比較道德教育論, 教育思想論, 教育臨床学		
合計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 教育学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理	日本史	1 以上	日本史	(教育学類開設) ◎日本史概論, 日本教育史	
	外国史	1 以上	外国史	(比較文化学類開設) ◎ <u>欧米研究概論</u> (日本語・日本文化学類開設) ◎ <u>東洋の歴史と文化</u> (教育学類開設) 外国教育史, アジア教育史	下線2科目か ら1科目選択 必修
歴 史	人文地理学及び自然 地理学	1 以上	人文地理学	(比較文化学類開設) ◎ <u>文化地理学概論</u> , ◎ <u>社会地理学 A~C (3科目セット)</u> , <u>比較文化地理学 I・II</u> (教育学類開設) 比較教育文化論	下線2科目か ら1科目選択 必修
			自然地理学	(比較文化学類開設) ◎自然環境論	
	地誌	1 以上	地誌	(教育学類開設) ◎地誌概論, 地域と教育	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 3. 区分「人文地理学」の社会地理学 A~C (3科目セット) を, 「地球学類開設の都市地理学, 交通地理学, 農村地理学(3科目セット)」を取得することによって代えられるものとする。
 4. 区分「自然地理学」の自然環境論を, 「地球学類開設の地球環境学1」を取得することによって代えられるものとする。

人間学群 教育学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法学	(社会学類開設) ◎法学概論, 民事法概論	
			国際法	(国際総合学類開設) ◎ <u>国際法 I</u> , ◎ <u>国際組織法</u> (教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論	下線2科目から1科目選択必修
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学</u> , ◎ <u>政治思想</u>	下線2科目から1科目選択必修
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(教育学類開設) ◎社会学概論, 教育社会学 I, 教育社会学 II	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(教育学類開設) ◎心理学概論, 哲学概論, 教育哲学, 道德教育論, 比較道德教育論, 教育思想論, 教育臨床学	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 4. 区分「政治学」の政治学を, 「社会学類開設の政治学概論」を取得することによって代えられるものとする。

人間学群 心理学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論	
			国際法	(教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論	
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(心理学類開設) ◎社会学概論, 社会・集団・家族心理学, 産業・組織心理学	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(心理学類開設) ◎心理学基礎論, 青年心理学, 教育・学校心理学, 発達心理学, 学習・言語心理学	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 障害科学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
福 祉	社会福祉学（職業指導を含む。）	1 以上	社会福祉学（職業指導を含む。）	（障害科学類開設） ◎社会福祉原論Ⅰ ◎社会福祉原論Ⅱ	
	高齢者福祉，児童福祉及び障害者福祉	1 以上	高齢者福祉	（障害科学類開設） ◎高齢者福祉論	
			児童福祉	（障害科学類開設） ◎児童福祉論	
			障害者福祉	（障害科学類開設） ◎障害者福祉論Ⅰ ◎障害者福祉論Ⅱ	
	社会福祉援助技術	1 以上	社会福祉援助技術	（障害科学類開設） ◎相談支援の基盤と専門職Ⅰ ◎相談支援の基盤と専門職Ⅱ ◎相談援助の理論と方法Ⅰ ◎相談援助の理論と方法Ⅱ ◎相談援助の理論と方法Ⅲ ◎相談援助の理論と方法Ⅳ ◎社会福祉調査論 ◎地域福祉の理論と方法Ⅰ ◎地域福祉の理論と方法Ⅱ ◎権利擁護と成年後見制度 ◎就労支援サービス論	
	介護理論及び介護技術	1 以上	介護理論	（障害科学類開設） ◎介護概論Ⅰ ◎介護概論Ⅱ	
			介護技術	（障害科学類開設） ◎介護技術	
	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	1 以上	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	（障害科学類開設） ◎介護実習（事前及び事後指導含む。） ◎ソーシャルワーク実習 ◎ソーシャルワーク演習Ⅰ ◎ソーシャルワーク演習Ⅱ ◎ソーシャルワーク演習Ⅲ	下線2科目から1科目選択必修 二重下線3科目から1科目選択必修
	人体構造及び日常生活行動に関する理解	1 以上	人体構造及び日常生活行動に関する理解	（障害科学類開設） ◎医学概論Ⅰ	
	加齢及び障害に関する理解	1 以上	加齢及び障害に関する理解	（障害科学類開設） ◎高齢障害学Ⅰ ◎高齢障害学Ⅱ ◎障害原理論Ⅰ	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 2. 教科に関する専門的事項の欄中，○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。
 4. 「介護実習」は，「福祉」免許のみの取得を希望する者を対象とする。高齢者施設，障害者施設など介護業務を行う施設を実習先とすること。
 5. 「ソーシャルワーク実習」は，社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する者を対象とする。「福祉」免許を併せて取得する場合は，高齢者施設，障害者施設など介護業務を行う施設を実習先とすること。
 6. 区分「社会福祉援助技術」の相談支援の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱを，「障害科学類開設の相談援助の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ」を取得することによって代えられるものとする。

生命環境学群 生物学類（中学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 中学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(生物学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1 以上	化学	(生物学類開設) ◎化学序説 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ	
	生物学	1 以上	生物学	(生物学類開設) ◎系統分類・進化学概論 ◎分子細胞生物学概論 ◎遺伝学概論 ◎生態学概論 ◎動物生理学概論 ◎植物生理学概論 動物系統分類学Ⅰ 植物系統分類学Ⅰ 動物生態学Ⅰ 植物生態学Ⅰ 進化遺伝学Ⅰ 生物物理学Ⅰ ゲノム生物学Ⅰ 分子進化学Ⅱ 数理生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 発生生物学Ⅰ 動物生理学Ⅰ 植物生理学Ⅰ 代謝生理化学Ⅰ 植物バイオテクノロジーⅠ 植物バイオテクノロジーⅡ 寄生生物学 放射線生物学	6 科目 セットで 必修
	地学	1 以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	(生物学類開設) ◎基礎生物学実験 S ◎基礎生物学実験 F 生物物理学実験 電子顕微鏡実験 水圏生物学実習 陸域生物学実習 動物分類学臨海実習 動物分類学野外実習 植物分類学臨海実習 菌類分類学野外実習 水圏生態学実習 陸域生態学実習 多様性生態学実習 動物発生学臨海実習 微生物学実験 動物系統分類学実験Ⅰ 動物系統分類学実験Ⅱ 植物系統分類学実験Ⅰ 植物系統分類学実験Ⅱ 高原生態学実習 進化遺伝学実験 モデル生物多様性実習 ゲノム生物学実験 理論生態学野外実習	2 科目 セットで 必修
	科				

				細胞生物学実験 分子生物学実験 発生生物学実験 I 発生生物学実験 II 生殖生物学臨海実習 動物生理学実験 植物生理学実験 代謝生理化学実験 応用生物化学実験 I 応用生物化学実験 III 応用生物化学実験 II 植物バイオテクノロジー実験	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	（地球学類開設） ◎地球学実験	
	合 計 （中学一種）	20			

- （注） 1. 教科に関する専門的事項の欄中，（ ）内のものは必ず含めて修得しなければならない。
2. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。
3. 区分「生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」の基礎生物学実験 S・F（2科目セット）を，「生物学類開設の基礎生物学実験 I・II・III（3科目セット）」を取得することによって代えられるものとする。

生命環境学群 生物学類（高等学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(生物学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1 以上	化学	(生物学類開設) ◎化学序説 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ	
	生物学	1 以上	生物学	(生物学類開設) ◎系統分類・進化学概論 ◎分子細胞生物学概論 ◎遺伝学概論 ◎生態学概論 ◎動物生理学概論 ◎植物生理学概論 動物系統分類学Ⅰ 植物系統分類学Ⅰ 動物生態学Ⅰ 植物生態学Ⅰ 進化遺伝学Ⅰ 生物物理学Ⅰ ゲノム生物学Ⅰ 分子進化学Ⅱ 数理生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 発生生物学Ⅰ 動物生理学Ⅰ 植物生理学Ⅰ 代謝生理化学Ⅰ 植物バイオテクノロジーⅠ 植物バイオテクノロジーⅡ 寄生生物学 放射線生物学	6 科目 セットで必 修
	地学	1 以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1 以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験 (化学類開設) ◎化学実験 (生物学類開設) ◎基礎生物学実験 S ◎基礎生物学実験 F 生物物理学実験 電子顕微鏡実験 水圏生物学実習 陸域生物学実習 動物分類学臨海実習 動物分類学野外実習 植物分類学臨海実習 菌類分類学野外実習 水圏生態学実習 陸域生態学実習 多様性生態学実習 動物発生学臨海実習 微生物学実験 動物系統分類学実験Ⅰ 動物系統分類学実験Ⅱ 植物系統分類学実験Ⅰ 植物系統分類学実験Ⅱ 高原生態学実習 進化遺伝学実験 モデル生物多様性実習 ゲノム生物学実験 理論生態学野外実習	2 科目 セットで必 修
科					

				細胞生物学実験 分子生物学実験 発生生物学実験 I 発生生物学実験 II 生殖生物学臨海実習 動物生理学実験 植物生理学実験 代謝生理化学実験 応用生物化学実験 I 応用生物化学実験 III 応用生物化学実験 II 植物バイオテクノロジー実験	
			地学実験（コンピュータ活用を含む。）	（地球学類開設） ◎地球学実験	
	合計 （高校一種）	20			

- （注） 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
2. 教科に関する専門的事項の欄中、（ ）内のものは必ず含めて修得しなければならない。
3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。
ただし高校1種の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から選択した1以上の科目について、指定されたものを修得すること。
4. 区分「生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」の基礎生物学実験S・F（2科目セット）を、「生物学類開設の基礎生物学実験I・II・III（3科目セット）」を取得することによって代えられるものとする。

生命環境学群 生物資源学類（中学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 中学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学Ⅰ・Ⅱ, 土の物理学Ⅰ・Ⅱ, 熱・物質移動の科学Ⅰ・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	
	化学	1 以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, ゲノム情報生物学, 基礎生物化学工学, 分子発生制御学, 生体模倣化学, 複合材料工学	
	生物学	1 以上	生物学	(工学システム学類開設) ◎生物学序説 (生物資源学類開設) 資源植物保護学, 植物遺伝学, 資源動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生態学, 森林育成学, 森林植物学, 分子生物学	
	地学	1 以上	地学	(物理類開設) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
科	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎物理学実験 バイオプロセスシミュレーション, 生物材料学実験	
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験	
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎農林生物学基礎実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1 以上	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎地球学実験	
合 計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, () 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 3. 区分「地学」の地学序説を, 「化学類開設の地学序説」を取得することによって代えられるものとする。
 4. 区分「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)」の物理学実験を, 「物理類開設の物理学実験」を取得することによって代えられるものとする。
 5. 区分「地学実験(コンピュータ活用を含む。)」の地球学実験を, 「地球学類開設の地学実験」を取得することによって代えられるものとする。
 6. 区分「生物学」の生物学序説を「生物学類開設の生物学序説」, 「物理類開設の生物学序説」, 「化学類開設の生物学序説」, 「応用理工学類開設の生物学序説」を取得することによって代えられるも

- のとする。
7. 区分「生物学」の生物学序説を「生物資源学類開設の資源生物学」を取得することによって代えられるものとする。
 8. 区分「生物学実験（コンピュータの活用含む。）」の農林生物学基礎実験を「生物資源学類開設の生物学実験」を取得することによって代えられるものとする。

生命環境学群 生物資源学類（高等学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学Ⅰ・Ⅱ, 土の物理学Ⅰ・Ⅱ, 熱・物質移動の科学Ⅰ・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	
	化学	1 以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, ゲノム情報生物学, 基礎生物化学工学, 分子発生制御学, 生体模倣化学, 複合材料工学	
	生物学	1 以上	生物学	(工学システム学類開設) ◎生物学序説 (生物資源学類開設) 資源植物保護学, 植物遺伝学, 資源動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生態学, 森林育成学, 森林植物学, 分子生物学	
	地学	1 以上	地学	(物理類開設) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
	科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1 以上	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎物理学実験, バイオプロセスシミュレーション, 生物材料学実験
化学実験(コンピュータ活用を含む。)				(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)				(生物資源学類開設) ◎農林生物学基礎実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)				(生物資源学類開設) ◎地球学実験	
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 2. 教科に関する専門的事項の欄中、()内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。
 4. 区分「地学」の地学序説を、「化学類開設の地学序説」、「応用理工学類開設の地学序説」、「工学システム学類開設の地学序説」を取得することによって代えられるものとする。
 5. 区分「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)」の物理学実験を、「物理学類開設の物理学実験」を取得することによって代えられるものとする。
 6. 区分「地学実験(コンピュータ活用を含む。)」の地球学実験を、「地球学類開設の地学実験」を取得することによって代えられるものとする。
 7. 区分「生物学」の生物学序説を「生物学類開設の生物学序説」、「物理学類開設の生物学序説」、「化学類開設の生物学序説」、「応用理工学類開設の生物学序説」を取得することによって代えられるものとする。

8. 区分「生物学」の生物学序説を「生物資源学類開設の資源生物学」を取得することによって代えられるものとする。
9. 区分「生物学実験（コンピュータの活用含む。）」の農林生物学基礎実験を「生物資源学類開設の生物学実験」を取得することによって代えられるものとする。

生命環境学群 生物資源学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
技	木材加工（製図及び 実習を含む。）	1 以上	木材加工	（生物資源学類開設） 生物材料学， ◎木材加工学	
			木材加工（製図 及び実習を含 む。）	（生物資源学類開設） ◎木材加工学実習	
	金属加工（製図及び 実習を含む。）	1 以上	金属加工（製図 及び実習を含 む。）	（生物資源学類開設） ◎機械・食品工学実験	
			機械（実習を含 む。）	（生物資源学類開設） 生物機械工学， 生物施設工学	
	電気（実習を含 む。）	1 以上	機械（実習を含 む。）	（生物資源学類開設） ◎生物機械工学実習	
電気（実習を含 む。）			（生物資源学類開設） ◎環境工学基礎実験		
術	栽培（実習を含 む。）	1 以上	栽培	（生物資源学類開設） 環境有機農業論	
			栽培（実習を含 む。）	（生物資源学類開設） ◎生物資源生産科学実習， 森林育成学実験， 有機農業実習	
	情報とコンピュータ （実習を含む。）	1 以上	情報とコン ピュータ	（生物資源学類開設） 実用解析 I	
情 報 と コ ン ピ ュ ー タ（実習 を含む。）			（生物資源学類開設） ◎生物資源科学情報処理実習		
合 計 （中学一種）		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 2. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。
 3. 区分「栽培（実習を含む。）」の生物資源生産科学実習を，「生物資源学類開設の生物資源生産科学実習 I」を取得することによって代えられるものとする。

生命環境学群 地球学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理 歴 史	日本史	1 以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 I -a・ I -b(2科目セット) ◎日本史概説 II -a・ II -b(2科目セット), 考古学概説 a・b 民俗学概説 a	下線2つから1つを選択必修
	外国史	1 以上	外国史	(人文学類開設) ◎東洋史概説 a・b ◎ヨーロッパ史概説 a・b ◎オリエント史概説 a・b 先史学概説 a・b 文化人類学概説-a・-b	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	人文地理学及び 自然地理学	1 以上	人文地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学 都市地理学 交通地理学 農村地理学 地理情報システム A・B 地域計画論	
			自然地理学	(地球学類開設) ◎地形学 ◎水文学 環境動態解析学 氷河凍土学 地生態学 海洋学 水環境リモートセンシング 水土環境動態論	下線2科目から1科目選択必修
	地誌	1 以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 経済地域論 観光地域論 社会地域論 世界地誌 I・II・III・IV	
合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。
 3. 区分「日本史」の
 ①考古学概説 a・b を, 「人文学類開設の考古学概説-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。
 ②民俗学概説 a を, 「人文学類開設の民俗学概説」を取得することによって代えられるものとする。
 4. 区分「外国史」の
 ①東洋史概説 a・b を, 「人文学類開設の中国史概説-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。
 ②ヨーロッパ史概説 a・b を, 「人文学類開設のヨーロッパ史概説-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。
 ③オリエント史概説 a・b を, 「人文学類開設の古代西アジア史概説-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。
 ④先史学概説 a・b を, 「人文学類開設の先史学概説-a・-b」を取得することによって代えられるものとする。
 ⑤文化人類学概説-a を, 「人文学類開設の文化人類学概説」を取得することによって代えられるものとする。
 5. 区分「人文地理学」の地理情報システム A・B を, 「地球学類開設の地理情報システム (GIS)」を取得することによって代えられるものとする。

生命環境学群 地球学類（中学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1 以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説	
	生物学	1 以上	生物学	(工学システム学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1 以上	地学	(地球学類開設) ◎生物圏地球科学 A, B, ◎地球変動・資源科学 A, B, ◎地球物質科学 A, B, ◎大気科学, 地史学・古生物学 A, B, 地層学 A, B, 地球変動科学 A, B, 岩石学 A, B, 地球資源科学 A, B, 鉱物学 A, B, 火山学, 大気力学, 気象学, 気候システム学, 地圏水文学, 気圏水文学, 流域水文学, 堆積プロセス学, 斜面プロセス学, 地球学野外調査法, 第四紀環境変動論	
科	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	(物理学類開設) ◎物理学実験 1	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	(地球学類開設) ◎地球学実験, 地質学基礎野外実験 I・II, 地質学野外実験 I・II・III・IV, 国際地質学総合野外実験 A・B, 大気科学実験 A・B, 大気科学野外実験, 水文科学実験 A・B, 水文科学野外実験, 地形学野外実験, 地形プロセス実験 A・B	
合 計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、() 内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 2. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。
 3. 区分「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）」の物理学実験 1 を、「物理学類開設の物理学実験」を取得することによって代えられるものとする。
 4. 区分「地学実験（コンピュータ活用を含む。）」の地形学野外実験を、「地球学類開設の地形学野外実験 A 又は B」を取得することによって代えられるものとする。

生命環境学群 地球学類（高等学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1 以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説	
	生物学	1 以上	生物学	(工学システム学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1 以上	地学	(地球学類開設) ◎生物圏地球科学 A, B, ◎地球変動・資源科学 A, B, ◎地球物質科学 A, B, ◎大気科学, 地史学・古生物学 A, B, 地層学 A, B, 地球変動科学 A, B, 岩石学 A, B, 地球資源科学 A, B, 鉱物学 A, B, 火山学, 大気力学, 気象学, 気候システム学, 地圏水文学, 気圏水文学, 流域水文学, 堆積プロセス学, 斜面プロセス学, 地球学野外調査法, 第四紀環境変動論	
	科	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	1 以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）」	(物理学類開設) ◎ <u>物理学実験 1</u>
化学実験（コンピュータ活用を含む。）」				(化学類開設) ◎ <u>化学実験</u>	
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」				(生物学類開設) ◎ <u>生物学実験</u>	
地学実験（コンピュータ活用を含む。）」				(地球学類開設) ◎ <u>地球学実験</u> 地質学基礎野外実験Ⅰ・Ⅱ 地質学野外実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 国際地質学総合野外実験 A・B 大気科学実験 A・B, 大気科学野外実験 水文科学実験 A・B 水文科学野外実験 地形学野外実験 地形プロセス実験 A・B	
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
 2. 教科に関する専門的事項の欄中、()内のものは必ず含めて修得しなければならない。
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。
 4. 区分「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）」の物理学実験1を、「物理学類開設の物理学実験」を取得することによって代えられるものとする。
 5. 区分「地学実験（コンピュータ活用を含む。）」の地形学野外実験を、「地球学類開設の地形学野外実験 A 又は B」を取得することによって代えられるものとする。